

# 農林水産商工常任委員会資料

(令和7年9月12日)

| 項 目                                                    | ページ |
|--------------------------------------------------------|-----|
| ■ 米の価格動向について<br>【生産振興課、食パラダイス推進課】 .....                | 2   |
| ■ 「第4回日本伐木チャンピオンシップ in 鳥取」の開催について<br>【林政企画課】 .....     | 3   |
| ■ とっとり出合いの森「湖山池天空エリア」オープンについて<br>【林政企画課】 .....         | 5   |
| ■ 境港昭和北岸壁における燃料供給管撤去工事の再開について<br>【水産振興課、境港水産事務所】 ..... | 6   |
| ■ ベニズワイガニ漁の解禁について<br>【境港水産事務所】 .....                   | 7   |
| ■ 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について<br>【農地・水保全課】 .....          | 8   |

農 林 水 産 部

## 米の価格動向について

令和7年9月12日  
生産振興課  
食パラダイス推進課

全国及び県内の米の価格動向について報告します。

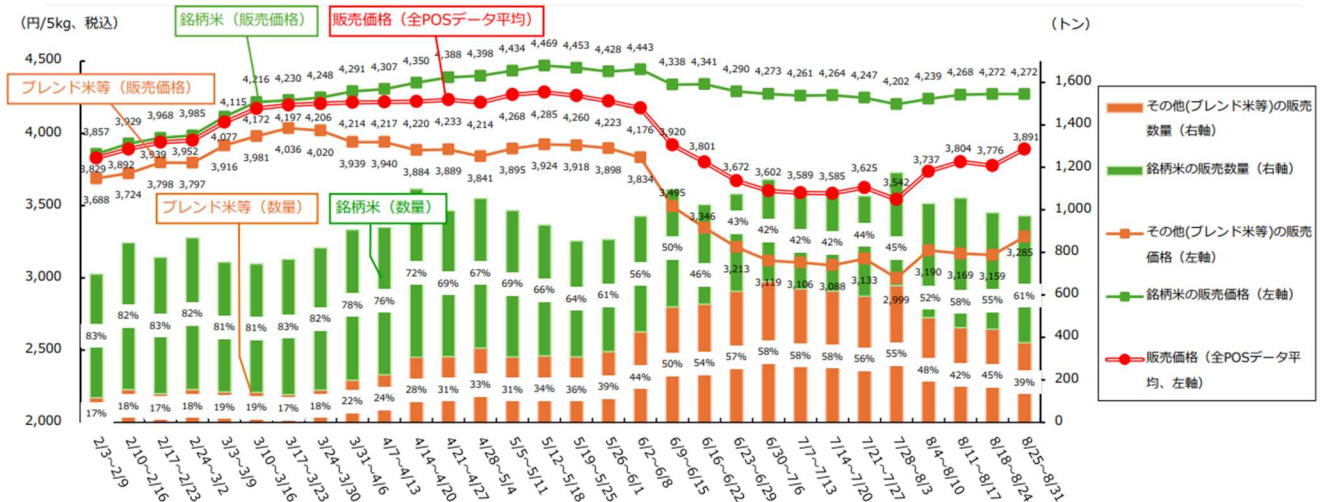
### 1 全国の米の販売価格動向

○9月5日に公表された全国的な米の小売価格（KSP-SP 提供 POS データ）は、8月25日の週の平均価格は3,891円/5kg（税込）で、前週と比べて115円上昇した。ブレンド米等が占める割合が前週の45%から39%に低下したことが影響。

- ・ブレンド米等の平均販売価格は前週比+126円の3,285円/5kg（税込）。
- ・銘柄米の平均販売価格は前週比±0円の4,272円/5kg（税込）。

⇒随意契約備蓄米の販売期限の延長

- ・備蓄米の販売期限は8月末までとされていたが、8月20日までに引き渡されなかったものについて販売期限を延長し、引渡し後1か月以内に販売することとされた。



### 2 県内小売店への調査（聞き取り又は書面）概要

#### （1）県内の状況（R7.9.5～10 県内小売店 10 店舗への調査結果）

※事業者数ではなく店舗数で記載 ※金額はいずれも5kg 袋の税込価格

- 購入制限まではかけていないという店舗が大半を占め、県内の小売店において品薄感はない。
- お盆頃から一部の店舗で県外産早場米の入荷が開始となった（高知県産 5,378 円、石川県産 4,514 円、茨城県産 4,480 円、北海道産 4,680 円等）。
- 現時点で県内産新米の取扱いを開始したのは2店舗で、1店舗では6年産コシヒカリより108円高い4,730円、もう1店舗では6年産コシヒカリより216円高い5,378円で販売している。
- 7月21日調査時、入札備蓄米（表示：ブレンド米又は複数原料米）の入荷は9店舗、随意契約による備蓄米の入荷は8店舗に上っていたが、現時点において継続入荷しているのは、入札備蓄米を入荷している1店舗のみ。随意契約による備蓄米については8月末が販売期限とされていたが、8月19日に、9月以降も販売継続すると決定された。
- これまで2種類の備蓄米が投入され、今後は、本格的な新米の入荷が見込まれる。今後の販売価格の動向については、前回までは、「当面下がる見込みはない」、「現時点では不明」との回答が大半を占めていたが、今回、1店舗が「下がる見込み」、3店舗が「変わらない」との回答だった。
- 定点品目である県産コシヒカリ5kgの入荷があるのは9店舗、残り1店舗では取扱いなし。価格は4,406円～5,500円（R7.8.18時点調査と比べ、最低値が▲540円、最高値は変化なし）。新米の本格的な入荷を控えるなか、2店舗において6年産米の価格が上昇した。他2店舗で価格維持、5店舗で値下げされた。

#### （2）調査対象店舗

県内のスーパーマーケット、ドラッグストア等（10店舗）

|        |     |
|--------|-----|
| 〔東 部〕  | 2店舗 |
| 〔中 部〕  | 1店舗 |
| 〔西 部〕  | 2店舗 |
| 〔広域展開〕 | 5店舗 |

#### （3）調査方法及び項目

購入制限、在庫状況、入荷状況、価格動向（見込み）、店頭価格 等

## 「第4回日本伐木チャンピオンシップin鳥取」の開催について

令和7年9月12日  
林政企画課

10月18日、19日に鳥取砂丘オアシス広場で「第4回日本伐木チャンピオンシップin鳥取」を開催します。地方組織による大会では全国初の公認大会であり、世界伐木チャンピオンシップに出場する日本代表選手5名を選出します。

また、9月13日、14日には同会場で、伐木競技に取り組む県内外の農林業高校・林業大学校生を対象としたアカデミー・ジュニアクラス伐木競技交流会を開催します。

- 1 目的 森林の整備・保全を推進するため、大会を通じて安全で正確な伐木技術を習得し、新たな林業の担い手育成を目指すとともに、競技形式でのスポーツ感あふれる高度な技を競い、林業の新しい魅力の発信、社会的認知度の向上、新規林業就業者数の拡大等を図る。
- 2 開催日 10月18日（土）予選、19日（日）決勝
- 3 会場 鳥取砂丘オアシス広場（鳥取市福部町湯山2164-754）
- 4 主催 日本伐木チャンピオンシップin鳥取実行委員会  
(公財) 鳥取県林業担い手育成財団（事務局）、鳥取県森林組合連合会、日本伐木チャンピオンシップ実行委員会、  
林業・木材製造業労働災害防止協会鳥取県支部、森林組合、鳥取県、市町村、（一社）林業技能教育研究所  
※審判員の養成は、青森県森林組合連合会及び青森県グリーンマイスター協議会にも協力いただいた。

## 5 内容

### (1) 競技内容

#### ①競技部門・参加選手

- ・選手は全国から募集し、抽選により80名に決定（24都道府県、60団体から参加）。  
県内は4団体から5名がプロフェッショナルクラスに参加。
- ・今大会で選出される日本代表選手5名は、令和8年3月にスロベニアで開催される第36回世界伐木チャンピオンシップに出場予定。

| 競技部門           | 参加選手 | 決勝大会 | 日本代表 |
|----------------|------|------|------|
| プロフェッショナルクラス   | 60名  | 12名  | 3名   |
| ジュニアクラス（24歳未満） | 10名  | 2名   | 1名   |
| レディースクラス       | 10名  | 2名   | 1名   |
| 計              | 80名  | 16名  | 5名   |

#### ②競技種目

- ・世界伐木チャンピオンシップのルールによる全5種目（伐倒、丸太合わせ輪切り、接地丸太輪切り、枝払い、ソーチェン着脱）とし、得点によりチェンソー技術の順位を競う。

### (2) 一般来場者向けの催し

- ・協賛企業等による展示・販売ブース、キッチンカー出店
- ・林業就業に関する相談・情報発信ブース

## 6 開催規模（目標）

来場者数 1,000人（参加選手80名）／2日間

## <競技種目>



- ①伐倒 : 標柱にできるだけ接近するよう、高さ12mの丸太を3分以内に伐倒する。  
 ②丸太合わせ輪切り : 傾いた2本の丸太を垂直に上下から切り出し、30～80mmの厚さに輪切りする。  
 ③接地丸太輪切り : 地面に接地している2本の丸太を地面に触れないよう上から垂直に30～80mmの厚さに切り出す。  
 ④枝払い : 丸太に差し込まれた30本の枝を切り払う。  
 ⑤ソーチェン着脱 : ソーチェンを外し、バーの上下を入れ替えて取り付け、別のソーチェンを装着する。

## <令和7年度アカデミー・ジュニアクラス伐木競技交流会>

- 1 目的 伐木競技に取り組む学校・生徒が一堂に会し、伐木・造材技術の「安全性、正確さ、スピード」の向上を目指して練習及び競技に励むとともに、学校・生徒間での交流を図ることにより、将来にわたって安全意識の高い人材確保・育成と交流促進を目指す。
- 2 開催日 9月13日（土）、14日（日）
- 3 会場 鳥取砂丘オアシス広場（鳥取市福部町湯山2164-754）
- 4 主催 公益財団法人鳥取県林業担い手育成財団（県委託事業）
- 5 内容 1日目（終日） 合同練習  
2日目（午前） 2種目の競技（簡易伐倒、丸太合わせ輪切り）
- 6 参加校

| 区分 | 校数・人数   | 学校名                                                                                                        |
|----|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 県内 | 3校・15名  | にちなん中国山地林業アカデミー（5名）、県立智頭農林高等学校（7名）、県立倉吉農業高等学校（3名）                                                          |
| 県外 | 7校・30名  | 長野県林業大学校（3名）、岐阜県立森林文化アカデミー（6名）、兵庫県立森林大学校（4名）、奈良県フォレストアカデミー（1名）、島根県立農林大学校（4名）、岡山県立勝間田高等学校（6名）、高知県立林業大学校（6名） |
| 合計 | 10校・45名 |                                                                                                            |

## とっとり出合いの森「湖山池天空エリア」オープンについて

令和 7 年 9 月 1 2 日  
林政企画課

11月3日にとっとり出合いの森「湖山池天空エリア」のオープンを記念し、記念イベント及び記念式典を開催します。

### 1 施設概要

- ・県立鳥取少年自然の家跡地（鳥取市桂見・高住）において、令和5年8月から本年10月にかけて、現地の豊かな自然や地形を活かした多目的広場、アクセス道等を整備中
- ・完成後は、隣接するとっとり出合いの森の新エリア「湖山池天空エリア」として、一体的に管理運営（指定管理者：株式会社谷尾樹楽園）
- ・当該エリアの編入により、出合いの森の区域は85haに拡大（9ha増）

#### ■主な施設

| 名称   | 概要                                                                 |
|------|--------------------------------------------------------------------|
| 森の広場 | 天然芝では国内有数の大きさ※の「芝すべり台」と、休憩舎・トイレを備えた憩いの広場 ※幅15m、長さ29m（全体では47m）、高さ9m |
| 空の広場 | 湖山池や鳥取市街地を一望する眺望が美しい広場<br>景色を楽しめる「天空のブランコ」を設置                      |
| 光の広場 | 旧天体観測塔をリノベーションした「展望台」<br>※標高70mに立地、高さ8m                            |
| 駐車場  | 第1駐車場 40台、第2駐車場 18台（うち2台はハートフル）                                    |

### 2 オープン記念イベント・記念式典

- (1) 日時 11月3日（月・祝） 午前9時30分から午後4時30分まで
- (2) 会場 湖山池天空エリア（シャトルバス利用）
- (3) 内容 ・逆バンジー設置（当日限定） ・ワークショップ（木のアクセサリーづくり等）  
・自然や動植物を学ぶウォーキング ・キッチンカー出店 ・スタンプラリー
- (4) 記念式典  
・知事、鳥取市長、地元関係者の出席の下、午後にオープン記念式典を開催する。

#### ■案内図





## 境港昭和北岸壁における燃料供給管撤去工事の再開について

令和7年9月12日  
水産振興課  
境港水産事務所

令和7年3月10日、特定漁港漁場整備事業計画に基づき実施する境港地区（境漁港）の整備のうち、新設する8号上屋に位置する既設の全国漁業協同組合連合会（全漁連）境港油槽所の燃油配管及び受払ピットの移転作業中、出火により作業員が負傷する事故（その後1名死亡）があったため工事が中断されていました。

このたび、安全対策措置が講じられ9月1日から工事が再開されました。

当該工事は全漁連が業者に発注しているもので、県は移転補償契約に基づき全漁連に対し金銭補償しているものです。

なお、工事中断に伴う8号上屋新設工事の事業スケジュールへの影響はありません。

### 1 工事再開及び今後の予定

|          |                                  |
|----------|----------------------------------|
| 令和7年9月1日 | 境港油槽所油送管撤去工事（当該移転補償契約工事の名称）の再開   |
| 11月15日   | 同工事完成予定（当初完成予定：令和7年5月末）          |
| 11月～     | 境漁港高度衛生管理型市場整備事業8号上屋新築工事（仮称）着手予定 |
| 令和8年10月末 | 同工事完成予定                          |
| 11月～     | 8号上屋供用開始予定                       |

### 2 工事再開にあたって講じられた安全対策措置

工事エリア内における出火を伴う作業事故が発生したため、リスクアセスメント及びリスク対策を講じて工事が再開された。なお、出火原因は現在も警察署及び労働基準監督署が調査中。

#### （1）残工事

- ・受入管撤去（陸上1本）
- ・払出管撤去（陸上1本、海上1本）
- ・バラスト管撤去（陸上1本、海上1本）

#### （2）安全対策措置

- ・作業前に工事エリア内の可燃性ガスの有無を「ガス検知器」により確認。
- ・海上（エプロン下）作業時はコンプレッサーにより新鮮な空気を海上（エプロン下）に送風し、危険有害ガスの滞留を防止する。
- ・既設配管の切断は火花が出ない工具を使用するか、これを使用する場合には不活性ガスを使用して引火対策を講じる。
- ・撤去のための既設配管の封印は溶接以外の方法により行う。
- ・作業員の保護具の着用。

#### （参考）

##### （1）事故の状況

- ・発生日時 令和7年3月10日（月）午後3時50分頃
- ・発生場所 境港市昭和町の国際旅客ターミナル北側岸壁付近
- ・事故の状況 漁船に燃料を供給していた管の陸側埋設管を栈橋手前で切断撤去した後、残った栈橋側の管を封印する溶接作業を行った際に出火し、作業員5名のうち4名がやけどを負い病院に搬送され、その後1名が死亡した。
- ・発注者 全国漁業協同組合連合会
- ・請負事業者 美保テクノス株式会社（今回の死亡者及び負傷者は協力会社の作業員）
- ・全漁連との移転補償契約  
8号上屋の整備に支障となる燃油配管及び受払ピットを移転する必要があるため、令和6年2月21日付移転補償契約を締結済。

##### （2）8号上屋の整備計画

イワシ、サバ、アジ等まき網漁業のトラック売りのための施設。  
整備費 1,030,100千円  
工事完了予定 令和8年10月末

## ベニズワイガニ漁の解禁について

令和7年9月12日  
境港水産事務所

9月1日（月）にベニズワイガニ漁が解禁となり、境漁港で9月6日（土）に初水揚げが行われましたので、以下のとおり報告します。

### 1 初水揚げの結果

高度衛生管理型市場であり、全国で唯一のベニズワイガニ専用上屋である「かにかご上屋」において、今シーズンの初水揚げ及び初セリが行われた。

|      | 初水揚げ日 | 水揚量    | 水揚金額     | 入港隻 | 最高値       | 平均単価    |
|------|-------|--------|----------|-----|-----------|---------|
| 令和7年 | 9月6日  | 20.6トン | 6,534千円  | 2隻  | 2,997円/kg | 317円/kg |
| 令和6年 | 9月6日  | 29トン   | 11,769千円 | 3隻  | 2,353円/kg | 406円/kg |

### 2 近年の水揚げ推移（一般社団法人漁業情報サービスセンター調べ）

| 漁期年                   | 水揚量（トン） | 水揚金額（億円） | 単価（円/kg） |
|-----------------------|---------|----------|----------|
| 令和6年（2024年9月～2025年6月） | 5,385   | 26.10    | 485      |
| 令和5年（2023年9月～2024年6月） | 5,427   | 20.17    | 372      |
| 令和4年（2022年9月～2023年6月） | 5,227   | 30.55    | 584      |

### 3 初セリ式の様子（9月6日（土）午前6時30分～、かにかご上屋内）

境港カニ水揚げ日本一PR実行委員会が主体となって初セリ式を実施した。



#### <境港カニ水揚げ日本一PR実行委員会>

- 会長：越河 彰統（こしかわ あきのり）（日本海冷凍魚（株）代表取締役社長）
- 構成：生産者、荷受（三卸）、境港鮮魚仲買協同組合、境港観光協会、皆生温泉旅館組合、境港商工会議所、境港水産振興協会、境港市、鳥取県等
- 目的：「境港カニ水揚げ日本一」を各種イベント等を通じて県内外に発信。境港に水揚げされるベニズワイガニ及びズワイガニの付加価値向上、消費の拡大、魚食の普及、ひいては境港の水産業及び観光業の振興を図る。

#### <今年度のベニズワイガニPRスケジュール>

- ・漁船出漁式（8月31日（日））
- ・初セリ式（9月6日（土））
- ・境港市内保育所でのカニ集会（10月～11月）
- ・東京・コトバ阿佐ヶ谷 ベニガニ料理教室（10月18日（土））
- ・第22回カニ感謝祭（令和8年1月18日（日））
- ・蟹取県ウェルカニキャンペーン（10月～2月末）と連携したPR

#### <資源管理の取組>

- ・平成17年から、小型ガニを逃がすため脱出口（内径9.5cm）を付けた漁具に改良している。
- ・平成19年9月から、国が大臣許可漁業の日本初の魚種として、IQ（漁船毎に年間漁獲量の上限を割当）を導入した。
- ・令和3年漁期からは、漁獲割当を漁期開始時に全量配分せず一部を留保し、留保分を漁期中に追加配分することによって、柔軟な管理が可能となっている。
- ・今漁期からTAC（漁獲可能量制度）が導入され、日本ベニズワイガニ漁業（大臣許可）の漁獲割当総量は7,997トンである。

#### <参考>

- ・日本海べにずわいがに漁業（大臣許可）の許可隻数は10隻（境漁港に水揚げする船9隻、香住漁港に水揚げする船1隻）である。
- ・境漁港に水揚げする船9隻の内訳は、鳥取県船2隻、島根県船6隻、新潟県船1隻である。
- ・令和5年におけるベニズワイガニの境漁港の水揚げシェアは日本一（54%）であり、2位は香住漁港である（水産物流通調査より）。



R6年度のカニ感謝祭の様子

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和7年9月12日  
農地・水保全課

【新規分】

| 主 務 課                   | 工 事 名                | 工事場所             | 契 約 の 相 手 方             | 契 約 金 額                                | 工 期                        | 契約年月日    | 入 札 方 法               |
|-------------------------|----------------------|------------------|-------------------------|----------------------------------------|----------------------------|----------|-----------------------|
| 農地・水保全課<br>(東部農林事務所)    | 神谷奥堤地区ため池整備<br>工事    | 鳥取市<br>西今在家      | 株式会社大谷組<br>代表取締役 大谷 廣秋  | 109,890,000円<br>(予定価格)                 | 令和7年9月8日<br>～<br>令和8年7月6日  | 令和7年9月8日 | 制限付<br>一般競争入札<br>(5社) |
| 農地・水保全課<br>(西部総合事務所農林局) | 淀江地区ほ場整備(道路<br>改良)工事 | 米子市<br>淀江町<br>淀江 | 有限会社松本建設<br>代表取締役 松本 将治 | 118,750,500円<br>118,800,000円<br>(予定価格) | 令和7年9月8日<br>～<br>令和8年3月25日 | 令和7年9月5日 | 制限付<br>一般競争入札<br>(1社) |